

番号	取組	内容	育てる資質・能力								時期	分野	教育課程上の位置付け	備考
			コミ	協調	リ	企	顧	探	会	情				
ア	「本物を見る、本物を知る」～ 地域の現状を知り、アイデアを起こす	<ul style="list-style-type: none"> <li>「5つの分野」の取組を始める1年生を対象に、1年次に実施した取組を今年度も継続し、講話やフィールドワークなどを通して得られる課題について、グループ・ディスカッションや発表を行い、各プログラムの基礎的・基本的な知識を習得するとともに理解を深める。</li> <li>プログラムごとに、今後必要となるアイデアの創出技法、アイデアをプランにまとめる企画力・創造力を身に付け、さらには、自分の意見を述べることはもとより、他人の意見を尊重した上で、グループで協力し取組を実施する意識や態度を身に付けながら協調性・協働性を育成する。</li> <li>それぞれの課題から創出するアイデアについて、ビジネスの視点での捉え方やビジネスを探究する意識の向上を図る。</li> <li>フィールドワーク終了後には、見学先の担当者とのコミュニケーションを図り、さらに顧客満足やホスピタリティについても考えるきっかけとし、次の段階で行う観光プランの作成やMICE ビジネスにおけるイベントプランの作成の際に必要な顧客満足実現能力を身に付ける。</li> </ul>									6月 ・ 11月 ～ 12月	観 光 ・ M I C E ・ 起 業 家 ・ 地 域 ビ ジ ネ ス	<p>【観光分野及び起業家、地域ビジネス分野】 「ビジネス基礎」において対象生徒を1年生全員（240名）として実施</p> <p>【MICE分野】 「ビジネス基礎」、「地理A」（地理・歴史）、「コミュニケーション英語Ⅰ」及び「英語会話」（外国語）において対象生徒を1年生全員（240名）として実施</p>	<p>【観光分野】 6月下旬（1回）</p> <p>【MICE分野】 6月上旬（バス研修1日・事前事後学習5時間）</p> <p>【地域ビジネス分野】 11月の8時間</p> <p>【起業家分野】 12月の8.5時間 （0.5時間はテスト返却後、事前アンケートを実施）</p>
イ	「国際観光都市としての札幌を知るⅠ」～ 外国人観光客のおもてなしと国際観光都市推進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌で行われるイベントで外国人観光客を案内することを目標に、語学能力を高めることや外国の習慣・慣例を知ることにより、国際的なサービス能力やコミュニケーション能力を育成する。このことにより、グローバル人材を育成する一助とする。</li> <li>コミュニケーション能力の向上につながるプログラムを実施するとともに、国際都市としての札幌の状況をプレゼンテーションとしてまとめ、発表する過程から理解を深める。</li> </ul>									8月 ～ 翌年3月	国際交流	<p>「ビジネス基礎」において対象生徒を1年生全員（240名）として実施</p> <p>「コミュニケーション英語Ⅰ」・「英語会話」（外国語）において対象生徒を1年生全員（240名）として実施</p>	8月～翌年3月の24時間
ウ	「これからの取組につなげる」～ 生徒国内及び海外研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光分野やMICE分野、地域ビジネス分野について、最新の情報を入手し、今後の取組について発見した課題の参考とするため、代表生徒が大学や関係機関にて研修を行う。</li> <li>国際交流及び外国での取組を推進するために、海外の商業事情を調査し、研修に参加する代表生徒が、今後の取組における他の生への橋渡し役となることにより、他者とのコミュニケーション能力を育成する。</li> </ul>									8月 ・ 12月 (予定)	観 光 ・ M I C E ・ 地 域 ビ ジ ネ ス ・ 国 際 交 流	学校行事に位置付け、対象を1年生とし、参加希望生徒の中から選考する代表生徒の参加によりそれぞれ実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒国内研修：8月の2泊3日</li> <li>生徒海外研修：12月の3泊4日（予定）</li> </ul> <p>※【学習プログラム イ(オ)】と同時に行う。</p>

番号	取組	内容	育てる資質・能力								時期	分野	教育課程上の位置付け	備考	
			コミ	協調	リー	企画	顧客	探究	会計	情報					
エ	「ビジネスの基礎を身に付ける」～ ビジネスに必要な技能の習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ビジネス基礎」の学習内容の深化を図り、ビジネスを行うための基礎的・基本的な技能について、実習等を通じて身に付ける。</li> <li>・実際の企業のデータを利用し、より実務に即したビジネス計算をさせることによって、マネジメントに必要な会計情報提供・活用能力の基礎・基本を身に付ける。</li> <li>・今後の取組で必要となる新しいビジネスを考える上で必要な情報を選択し、分析する力やそこから課題を発見し、主体的に対応する能力の育成を図る。</li> <li>・イベントを企画運営する組織との対応に活用するため、電話対応や来訪の対応など、場面に合わせた活用ができるよう実習を行う。</li> </ul>	○							○	○	9月～11月	※授業	「ビジネス基礎」において対象生徒を1学年全員（240名）として実施	9月～11月の10時間程度

番号	取組	内容	育てる資質・能力								時期	分野	教育課程上の位置付け	備考
			コミ	協調	リー	企画	顧客	探究	会計	情報				
ア	「札幌の魅力を伝える観光とは」～観光客が求める新たな観光プランの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌の新たな魅力を伝える観光プランの作成を通じて、顧客満足を実現するために必要な能力は何かを体験的に学ぶ。</li> <li>顧客に魅力を伝える取組を通じて、情報の適切な取り扱い方法やメディア戦略の実際など情報を主体的に活用する能力の育成を図る。</li> </ul>									6月～7月	観光	「マーケティング」において対象生徒を2年生全員（240名）として実施 「広告と販売促進」におけるメディア戦略について対象生徒を科目選択者として実施	6月～7月の12時間
イ	「地域ビジネスを体験する」～札幌における新たなビジネスの振興Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元札幌に密着した先進的な取組を進めている企業と連携しその経営の歩みを研究することにより、ビジネスとしての新たな可能性を見出し、地域の特性や個性をビジネスに生かして地元産業の活性化に貢献できる人材を育成する。</li> <li>「地域ビジネスの意義や先進的な取組」についての講話から実際に地域と取り組んだ事例を把握し、地域の課題や取組をビジネスの視点でどのように捉えるか、地域に根差した取組を実際に提案させ、内容の深化を図る。</li> <li>これらの取組により、地域の産業を活用し、地域に根差したビジネスの新たな方向性を探り、新しいビジネスにつなげる能力を育成する。</li> </ul>									10月～11月	地域ビジネス	「マーケティング」において対象生徒を2年生全員（240名）として実施	10月～11月の4時間
ウ	「クラウドファンディングを利用した起業挑戦」～ビジネスアイデアから起業へ。起業の実際を体験し知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年次「ビジネス基礎」で学習したビジネスについての知識や起業家の取組をもとに、ビジネスアイデアを起業案にするために必要な各資源のマネジメントについて理解する。</li> <li>販売計画や仕入計画、資金・人材調達、企業法務など起業についてのノウハウについては、起業についての専門家もしくは研修を受けた本校教員により講義を通じて理解する。</li> <li>自ら作成したビジネスアイデアから起業案にするための一連の方策について、実習を通じ理解させ、自らの力で起業案を作成する際に不可欠な考察力や分析力を身に付ける。</li> </ul>									12月	起業家	「マーケティング」において対象生徒を2年生全員（240名）として実施	12月の8時間
エ	「国際観光都市としての札幌を知るⅡ」～外国人観光客のおもてなしと国際観光都市推進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌で行われるイベントで外国人観光客を案内することを目標に、語学能力を高めることや外国の習慣・慣例を知ることにより、国際的なサービス能力やコミュニケーション能力を育成する。このことにより、グローバル人材を育成する一助とする。</li> <li>外国人の観光客のマナーや異文化間の問題点について、現状を知るとともに、外国人観光客への対応を体験する。</li> </ul>									7月～11月	国際交流	「マーケティング」及び「コミュニケーション英語Ⅱ」（外国語）において対象生徒を2年生全員（240名）として実施 「異文化理解」において対象生徒を2年生科目選択者として実施	7月～11月の18時間

番号	取組	内容	育てる資質・能力									時期	分野	教育課程上の位置付け	備考	
			コミ	協調	リー	企画	顧客	探究	会計	情報						
オ	「地域の魅力を伝える」～海外の国・地域へ札幌の売り込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外の国・地域において、地元札幌の魅力を伝えることを目標に、グローバルな視点での資質・能力を育てる。</li> <li>・地元札幌の魅力を商業の視点で発掘し、それを海外の国・地域で宣伝する企画を考えることにより、企画力・創造力を育てる。</li> <li>・昨年度の取組および海外研修で調査した海外事情を参考に、海外の国・地域にあった企画を考えることにより、顧客満足実現能力を育てる。</li> <li>・実際に海外の国・地域において、宣伝を行うことにより国際的なサービス能力やコミュニケーション能力を育成する。</li> </ul>	○			○	○						12月 (予定)	MICE ・ 地域 ビジネス ・ 国際交流	学校行事に位置付け、対象を2年生とし、参加希望生徒の中から選考する代表生徒の参加によりそれぞれ実施	12月の3泊4日（予定） ※【学習プログラムア(ウ)】と同時に行う。
カ	「イベントを動かす」～札幌で行われるイベント運営の実際	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光、MICEや国際交流の各プログラムで学んだ事項を活用して、札幌で行われるイベントを企画運営する組織の協力によりイベントのプロジェクト管理などの運営側として必要な事項を体験的に学ぶ。</li> <li>・札幌で行われるイベントに企画・運営スタッフとして参加し、イベントを実施する際に必要となる能力・技術について体験的に学ぶ。</li> <li>・生徒の代表として、これらの取組を行い、それを全体に伝えることにより、来年度以降のイベントをリーダーとして率いる力（リーダーシップ）を育成する。</li> </ul>				○							9月	MICE ・ 国際交流	「ビジネス基礎」において対象生徒を1年生、「マーケティング」において対象生徒を2年生として学習し、学校行事（インターンシップ）を実際の体験場面として、代表生徒(数十名)により実施	※ イベント実施時期に実施する。

※ プロジェクトを管理する能力の育成

番号	取組	内容	育てる資質・能力								時期	分野	教育課程上の位置付け	備考
			コミ	協調	リー	企画	顧客	探究	会計	情報				
ア	「資源を適切に活用するマネジメントとは」～ ビジネスマネジメントの基礎を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>各資源を適切に結びつけるビジネスマネジメントの概要や、ビジネスの場面を想定した上でマネジメントに必要な知識を理解させるとともに、ビジネスを実施する際のプロジェクトを管理するための方策を理解する。</li> <li>適切なマネジメントの重要性について、起業の社会的責任や企業倫理との関連から捉えさせるため、具体的な事例を提供することにより理解する。</li> <li>これらの取組により、今後「課題研究」においてマネジメント能力を利用した取組を生徒自ら行うことができる資質・能力を育成する。</li> </ul>									6月	各分野	「総合実践」において対象生徒を3年生全員（240名）として実施	6月の5時間（講演2時間・事前事後指導3時間）
イ	「ビジネスゲームでマネジメントを体験しよう！」～ ビジネスマネジメントを体験する	<ul style="list-style-type: none"> <li>資金の調達及び運用、商品の開発・販売、決算など株式会社の経営などを体験できるビジネスゲームを活用することにより、ビジネスマネジメントを模擬的に実施する。</li> <li>ビジネスゲームにおいて、会社経営の役割分担について責任をもって遂行することにより、プロジェクトを管理する能力やリーダーシップを育成する。さらに、商品のアイデアを考えることにより企画力・創造力を育成する。</li> <li>ビジネスゲームにおいて、事業計画書や決算、株主総会の開催等の体験から、会計情報提供・活用能力及び情報処理・活用能力を育成する。</li> <li>これらの取組により、今後「課題研究」においてマネジメント能力を利用した取組を生徒自ら行うことができる資質・能力を育成する。</li> </ul>									7月～9月	各分野	「総合実践」において対象生徒を3年生全員（240名）として実施	7月～9月の21時間
ウ	「ビジネスマネジメントをやってみよう！」～ 未来のビジネスの創造と展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの教育プログラムの総まとめとして、それまでに身に付けた資質・能力や商業の各分野で学んだ知識、技術、様々な人とのつながりを基に、ビジネスに関する課題を発見し、その方策をマネジメントし、解決策を探究する活動を行う。</li> <li>研究成果については、本校が開催する「SPH成果発表会（課題研究発表会）」において、地域の方や産業界の関係者、教育関係者などを招き、広く活動を発信する。</li> <li>このことにより、ビジネスを通じ、地元札幌の地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を高める本校の教育プログラムの目的を達することを旨とする。</li> </ul>									通年（4月～3月）	各分野	「課題研究」において対象生徒を3年生全員（240名）として実施	通年（4月～3月）週4単位時間



